

ゆりかご

2018. 7月号

http://dai2.m-wakakusa.net/

第二わかさ保育園
H.30. 6.25 発行



【7月の聖句】

理事長 松本俊雄

狭い門から入りなさい。滅びに至る門は大きく、その道は広いからです。そしてそこから入っていく者が多いからです。いのちに至る門は小さく、その道は狭く、それを見いだす者はまれです。

マタイの福音書 7章 13.14 節

人生の道は広い方が良くと思いますが、この世は悪と誘惑に満ちています。たとえ厳しくても悪や誘惑に負けないためには、狭く小さな門が必要です。悪や誘惑に負けない子どもたちを育てましょう。

【園長から】

今年も大きなプールが登場しましたよ~!! 水となかよく元気にあそぼうね!

園長 磯野 佳美



今年も「梅雨入り…」真夏の暑さだったり、肌寒く安定しない日々でしたが、やっぱりちよっとジメジメ嫌な季節になりましたね。雨のお散歩は、長靴を履いて・レインコートを着て…楽しみに〜♪
雨も大事な『保育教材』。雨の日でも、遊びを見つけてわかさっ子は元気一杯に過します。

「恵みの雨」も必要ですね。それによって作物が実り、収穫が出来るといいですね。ぎんが組は、育てたラデュッシュ・きゅうり・ピーマンが採れて大喜び。今年は、なすをキッチンさんが油で炒めてくれ、大好評！おいしく戴きました。苦手で家では食べなかった子も、「ママにリクエスト！」と感謝☆今年も別棟前に大きな**プールを設置**しました。この夏1か月ですが、事故なく楽しんでいきます。たくさん遊ばせてあげたいのですが、期間については以前よりご説明致しておりますが、保育において「プール設置」は義務付けられておりません。ビニールプールで過ごしている園もあります。当園は**共同募金会からの寄付により「組立式プール」の購入**出来感謝。そしてプール活動中の水道代や維持管理費もプール設置のない園と同じ運営費の中からのやりくりで実施しています。どうぞご理解の程、お願い致します。さあ、今年のぎんが組も全員5mまで泳げるかな？毎年、顔も水につけられなかったおともだちが、泳げるようになっていきます。乳児のおともだちも、シャワーを浴びたりミストの下を行ったり来たり〜♪砂場に池をつくったり、水たまりをピチャピチャ！裸足で・水遊び・泥んこ遊びも、大好きなようで楽しみです。ちよっぴりシャワーは苦手なお友だちも水遊び。顔にかかっても大丈夫になったり、…慣れて遊んで行こうね
「水」・「砂」も最高の保育教材ですね。…ですが、その他も含めていつも**「危険と隣り合わせの保育」**です。特にこの数年は、「**プール活動時に死亡事故**」が起きており、注意喚起してまいりましたが、その事故を検証しさらなる具体的な指導内容「ガイドライン」が提示されました。当園でもそれに伴い活動時の指導内容変更を行い実施致します。

----- * プールの監視を行う際に注意すべきポイント* (消費者安全調査委員会より/抜粋)-----

(1) 監視者は監視に専念する (2)監視エリア全域をくまなく監視する (3)動かない者や不自然な動きをしている者を見付ける
-特記/人が溺れているときには、もがいたり声を上げて助けを求めたりすると思いがちであるが、「プールにおける幼児の特性とリスク」で述べたように、実際には静かに溺れることが多いと言われている。したがって、プールの監視においては、不規則な水音や大声を出したり不自然な動きをしている者だけでなく、動きの少ない者やこれまで活発に動いていたのに動かなくなった者を見付けることが重要なポイントである。(4) 定期的に視線を動かしながら監視する-----

これらにより、「プール活動時の監視員としてわかるように専用の赤色の**【帽子・服】を着用し**、児童にも**『話掛けない』**等指導していきます。また、乳児についても[10 cmの水量でも危険]を重視し**個別盤を使用**・ビニールプールから水を汲む等に変更致します。事故防止に、ご理解願います。

◆**個人面談**ありがとうございました。お忙しい所、お時間をつくって頂きありがとうございました。進級・入園して2か月の様子をお伝えしたり、ご家庭での様子を伺うことが出来て今後の保育の参考になりました。また、ご家庭からもお声を頂き、ありがとうございました。有意義な時間になりました。感謝です。(これからの方もよろしく願います)

◆平成29年度の園の運営に関し、公表・情報公開を6月27日より行います。**「決算書」**の閲覧は、例年のように玄関棚でご覧戴けます。その他東京都のHPからもご覧戴けます。保護者・地域の皆様のご支援ご協力を戴き、運営できますことを心よりお礼申し上げます。これからもよろしく願います。

あそびつかれて
野原にねころぶと
大地のうたがきこえたね
四季はめぐり時流れ
みんな忘れたはづなのに
草の話しを思い出して
大地のうたがききたくて
野原にそとねころんでみました
もう何もきこえない
ただ果てしなく広がる青い空が
あの日とおなじでした

草の詩

子守り人 八重



創設者：阿部八重先生の本 **【子守りの詩】**より
玄関に置いてあります。手にとってご覧くださいね。

